

令和6年6月19日

議会議長 田 口 彰 一 様

文教厚生委員会
委員長 鈴木 晴 範

閉会中における所管事務調査についての報告

函南町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 令和6年4月26日（金）午前9時00分
- 2 委員の出席状況 委員全員出席
- 3 調査事項

(1) 町内教育・保育施設整備基本方針について

急速な少子高齢化の進行や核家族世帯の増加、女性の社会進出等、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、今後の教育・保育需要に対応することが急務となっている。町では地域における子育て支援の拡充を実現するため、子ども・子育て支援事業計画を補完するものとして、函南町教育・保育施設整備基本方針を策定し保育施設等の効率的な運営体制の整備を進めていく。

基本方針の策定に際しては、アンケート調査による保育ニーズの検証や保育士、幼稚園教諭等の子育て関係職員へのヒアリング及び函南町子ども・子育て会議の委員の意見等が反映されていることを確認した。

待機児童の解消、将来の保育需要に応じた町の施設整備の方針として、まず、自由ヶ丘幼稚園の認定こども園化に向けた施設整備を推進するという報告を受けた。

短期的な保育需要に対応するだけでなく、人材育成等を含め中長期的に保育ニーズに対応できるよう総合的な推進に努められたい。

(2) 第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画について

現代の健康生活で課題となっているメタボリックシンドローム、糖尿病等の生活習慣病の予防、改善を図るため町では前計画の検証をふまえ、計画の更新が行われた。

町民の健康増進のため、住民課、健康づくり課、福祉課等関係部署と連携し、特定健診の受診啓発、受診後の特定保健指導等の計画内容を確認した。

コロナ禍の影響もあり受診率の伸び悩みが課題であるが、特定健診における封筒デザインの改善や富士伊豆農協との受診体制の連携、さらに今後は商工会へも受診の推進を働きかけていくなど前向きな施策の実施の説明を受けた。

また、今年度より健診の自己負担金の無料化及び集団検診の会場の増設等町民の受診環境の整備に取り組んでいくことを確認した。

今後も引続き町民の健康増進に努められたい。

(3) わかくさ共同作業所の長寿命化工事について（現地視察）

建築後 27 年が経過したわかくさ共同作業所は建物の劣化や設備の老朽化が顕著となっており、今年度改修が予定されている。改修にあたっては施設の利用者、管理者の要望が反映されており、和式トイレから洋式トイレへの改修や休憩所のフローリング化、作業所の床の改修等により、現場の実情に沿った改修が行われることを確認した。

改修工事については、利用者に影響が及ばないよう、安全な施工がされるよう努められたい。

現地視察では、施設の現況や改修箇所等の確認を行った。